

1. 第1次対応（不審者発見時の対応）

C-①



<発見者>

- 大きな声を出し、近くの職員に応援を依頼する
とともに、校長・副校長への連絡を依頼する。
- 児童の安全を確保（避難・誘導・応急処置）する。
- 不審者へ対応（現場近くの複数人で対応）する。

負傷者

応急手当

養護教諭
※医療機関へ
連絡付き添い

<近くの職員>

- ※ 校長、副校長への連絡と
負傷者がある場合、養護教諭への連絡
- 大きな声を出し、非常ベルを鳴らす 笛を強く吹く
 - 児童の安全確保（避難・誘導・応急処置）
 - 防火扉等を利用し、不審者と児童を遮断する



応援



連絡

職員室・事務室

- 侵入場所へ駆けつける（複数の職員）
- 非常通報装置を押す（学校110番）
- 非常放送（児童の避難・誘導指示）
- 現場の情報収集を行う

校長・副校長
在職員室教員
事務職員

避難場所

体育館、
校庭、
その他
校長が指示
する場所

※養護教諭への連絡 ※医療機関への連絡
※警察への連絡 ※教育委員会への連絡

連絡 指示

非常放送による指示

各教室の対応（児童の安全確保）

- 非常放送に従い、避難する。
- 場合によっては校外へ2次避難をする。
- 児童の避難・誘導（学級担任・教科担任）

教育委員会
・ 対応指示
・ 応援



※警察への通報

通常は、**小松川警察署 3674-0110** に電話連絡を行う。状況により非常通報装置（学校110番）を運用するが、運用に当たっては校長が判断する。

2. 第2次対応（事件直後の対応）

《緊急対策会議（運営委員会）》

- 情報収集・状況の把握
- 協議・決定、伝達・指示

- 負傷者の確認・医療機関への搬送
- 児童の安全管理・保護者への引き渡し、下校
- 警察との連絡 □ 教育委員会との連絡
- 保護者との連絡 □ マスコミへの対応

《救急措置》

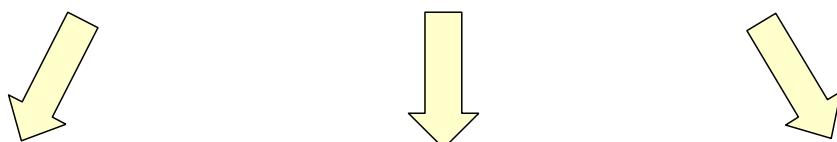
- 応急処置
(発見者・養護教諭等)
- 医療機関への搬送、
連絡調整
(養護教諭)
- 負傷者の人数・氏名・
程度等の把握
(養護教諭)
- 負傷した児童の
保護者への連絡・対応
(副校長、学級担任)

《児童管理》

- 児童の安全管理
- 避難・誘導
- 下校・集団下校・引渡し
の指揮
(生活指導主任)
- P T Aとの連絡
(副校長)
- 保護者への連絡
(連絡メール)
(各学級担任)
(情報推進リーダー)

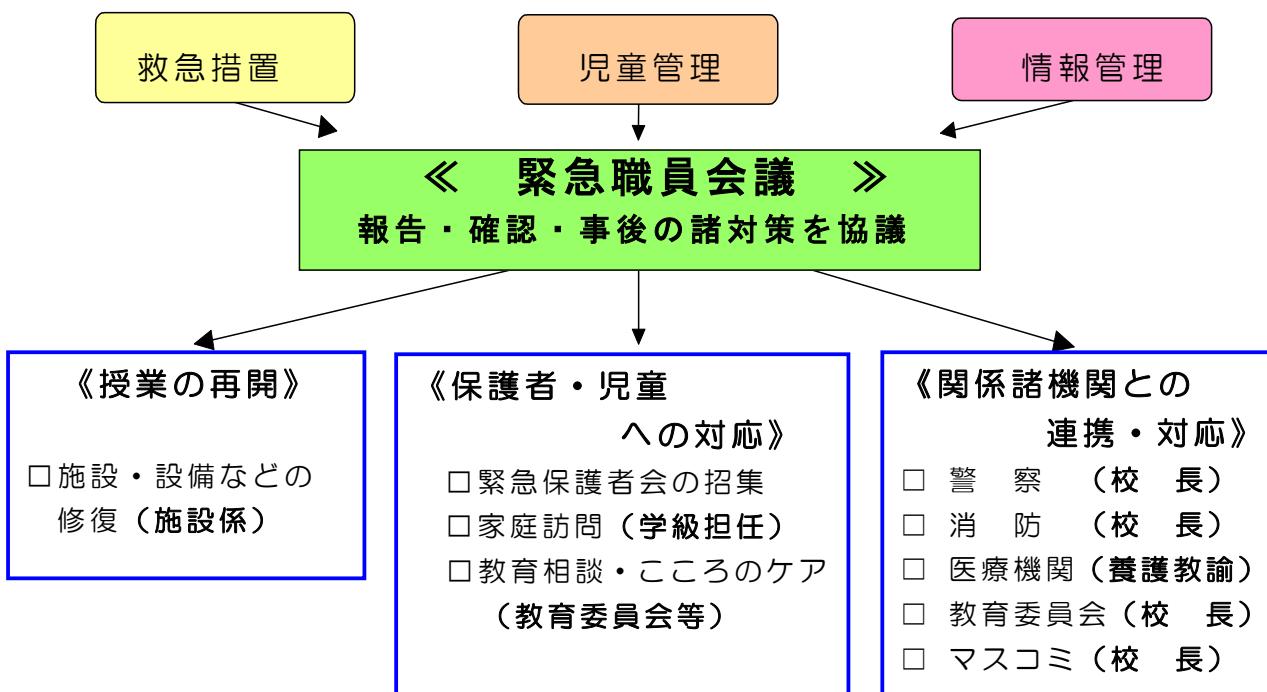
《情報管理》

- 情報収集・状況の
把握・伝達・記録
(教務主任)
- 警察・教育委員会・
マスコミへの対応
(校長)
- 保護者・地域への対応
(副校長)



※ 上記の役割について、校長不在の場合の代理者は必ず指定しておく。
また、副校長以下の教職員の役割についても、校長があらかじめ指定しておくものとする。

3. 第3次対応（事件後の対応・措置）



C-②

4. 児童の避難誘導

1 教職員の誘導体制	
副校長（又は主幹）	非常放送（避難場所の指示）
各学級担任・授業担当者	児童の誘導、安全確保
授業のない教員	校内残留児童の確認・誘導
2 発見時間及び場所による避難誘導	
授業中	学級担任又は授業担当者は、非常放送があった場合、事件発生場所（危険場所）を避けた避難経路を確認し、直ちに児童を安全な場所へ避難・誘導する。
休み時間	原則として、 <u>学級担任又は次の授業を受け持つ授業担当者</u> は、非常放送により事件が発生した場所を避けた避難経路を確認し、児童の避難・誘導にあたる。

5. 教職員等の主な役割**C-③**

※発見者・・・大きな声を出し、近くの職員に応援を求め、複数人で対応。

児童の安全確保、必要な応急措置、校長・副校長・養護教諭への連絡など。

係	担 当	主 な 役 割
総指揮	校 長	対応方針の決定、校内の総括・指揮、教育委員会への報告、警察・マスコミ対応等
通報連絡	副校長	非常放送（避難指示）、関係機関、保護者・PTA等への対応、校外からの連絡窓口の一本化、事務的な対外折衝等
	教務主任	情報収集、状況の把握・記録伝達（副校長を補佐）、緊急保護者会の企画
避難誘導	生活指導主任	児童の避難誘導及び人員確認、安全確保、下校や集団下校・引渡しの指揮、状況説明と動揺を防ぐための全校集会の企画
	学級担任	児童の安全確保・避難誘導、保護者への連絡、学級の児童の不安や動揺の解消等
	学年主任	担任への助言、担任不在の学級への援助体制の指示
防衛	各学年で役割分担	不審者への対応、施設設備の修復、担任不在の学級への援助、児童の安全確保
救護	養護教諭	応急措置、負傷者の状況把握、医療機関への連絡・付添健康状態の把握、心のケア

6. その他の対応<緊急時の連絡体制>**《不審者対応における緊急時の連絡体制の整備》**

- 校長は、隨時、状況を教育委員会教育指導室に報告するとともに指示に従う。
- 校長は、教育委員会の指示に基づき、児童の早期下校や休校等について決定し、保護者に連絡する。
- 負傷者が発生した場合、誠心誠意をもって対応する。

緊急通報マニュアル

C-④

1. 警察を要請する場合（不審者等）

◎ 「**110**」または「**3674-0110（小松警察署）**」

「**不審者が侵入しています。**」

「**江戸川区立小松川第二小学校です。**」

「**住所は 江戸川区小松川3-6-4 です**」

「**電話番号は、03-3681-4319**」

「**目標物は、さくらホール横です。**」

「**状況は○○○、不審者の状況は○○○、**

「**刃物等は○○○、けが人は○名、**

2. 救急車を要請する場合

◎ 「**119**」をダイヤルする。

・「こちら消防庁。火事ですか、救急ですか。」

「**救急車をお願いします。**」

「**江戸川区立小松川第二小学校です。**」

「**住所は 江戸川区小松川 3-6-4 です。**」

「**電話番号は、03-3681-4319 です。**」

「**けが人(病人)は○年生、男子(女子) ○名**」

「**症状、けがの状態は○○○**」

職員玄関側の門を開け、通りに出て、救急車が到着したら案内をする。